

2024年度 土砂災害予測に関する研究集会開催案内

能登半島地震による土砂災害の実態と特徴
—新潟県中越地震 20 年を迎え過去の災害を振り返りつつ—

趣旨

2024年1月に能登半島北部を震源とするM7.8の地震が起き、石川県を中心に富山・新潟など広い範囲にわたって、関連死を含め300人を超える人的被害と家屋の倒壊や生活インフラの壊滅など多大なる被害が生じた。能登半島北半部を中心に数千か所で土砂災害が発生し、多数の人的被害と道路・トンネル・鉄道などの損壊、長期間にわたる交通網の途絶によって救助活動や復旧復興に深刻な支障をもたらした。さらに2024年9月豪雨による土砂災害も発生している。こういった土砂災害をもたらした各種の斜面変動の実態や発生要因等について明らかにすることは、今後の地震地すべりの発生予測や防災対策を考える上で重要である。

また、今年には2004年に起きた新潟県中越地震の発生から20年目にあたる。この間の地震地すべりに関する調査研究の進展を踏まえ、地震によって生じる土砂災害に関して大きな視点から地震地すべりの実像に迫ることも目指したい。この20年間においては、新技術の進歩と応用が図られたことも特筆され、このような新技術によって得られた具体的な応用事例について紹介いただくとともに、今後のさらなる展望についても議論を深めたい。

今年度の「土砂災害の発生予測に関する研究集会」については、上記をテーマとして各界の専門家に講演をいただくことで、土砂災害に関わる多くの方々に視聴する機会を設けることを主目的に企画した。本研究集会が今後の土砂災害防災にとって有益な意見交換の機会になることを期待したい。

主催： 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
後援： 日本地すべり学会・砂防学会・日本応用地質学会・斜面防災対策技術協会
(予定)
開催日時： 2024年12月9日(月)10時00分～17時30分
開催形態： Zoom会議によるオンライン方式(先着500名)
発表形式： 基調講演・招待発表・総合討論

参加申し込み： <https://forms.gle/CCy6v3zTgPqrGGMP6>

申込み切： 2024年12月6日(金)12:00
参加費： 無料
CPD： 建築コンサルタンツ協会CPD(予定)

ご不明な点などございましたら、研究集会事務局(jisuberi@bosai.go.jp)までお問い合わせください。

2024年度 土砂災害予測に関する研究集会 プログラム

能登半島地震による土砂災害の実態と特徴

—新潟県中越地震20年を迎え過去の災害を振り返りつつ—

12月9日(月) 10:00~17:30		
10:00~10:05	開会挨拶・趣旨説明	防災科学技術研究所
10:05~11:05	基調講演 2024年能登半島地震による崩壊地の分布と発生形態および能登半島豪雨による土砂流出	柳井清治(石川県立大学)
11:05~11:10	休憩	
11:10~11:35	2024年の能登半島地震による斜面変動が地震後の降雨による崩壊・地すべりに与えた影響	大丸裕武(石川県立大学)
11:35~12:00	2024年能登半島地震で生じた低角並進すべり	高見智之(国際航業)
12:00~13:00	昼休憩	
13:00~13:25	令和6年能登半島地震のPALSAR-2データピクセルオフセットによる地すべりの把握	佐藤 浩(日本大学)
13:25~13:50	防災科研の地すべり地形分布図との比較による地震地すべりの再活動性 —新潟県中越地震の事例も踏まえて—	井口 隆(防災科学技術研究所)
13:50~14:15	地震前後の降雨の斜面崩壊に対する影響	千木良雅弘(深田地質研究所)
14:15~14:40	輪島市東部八太郎峠付近で発生した地震地すべりの活動履歴	八木浩司(深田地質研究所・防災科学技術研究所)
14:40~14:45	休憩	
14:45~15:10	能登半島地震による層理面に規制された地すべり性崩壊について	村上智昭(復建技術コンサルタント)
15:10~15:35	能登半島地震による火山岩地域での斜面崩壊の特徴	太田岳洋・瀧本真理(山口大学)
15:35~16:00	輪島市市ノ瀬地区で発生した地すべりの地形・地質的特徴	杉本宏之(土木研究所)
16:00~16:25	土砂災害の法的指定ハザードマップの適用性および地震と豪雨との土砂流出の違い	稲垣秀輝(環境地質)
16:25~16:30	休憩	
16:30~17:20	総合討論	
17:20~17:30	閉会挨拶	